

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 26 年 1 月 23 日 (2014.1.23)

【公開番号】特開 2011-138121 (P2011-138121A)  
 【公開日】平成 23 年 7 月 14 日 (2011.7.14)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-028  
 【出願番号】特願 2010-270347 (P2010-270347)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 9/08 3 7 4

G 0 3 G 9/08 3 7 5

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 3 日 (2013.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

結着樹脂及び着色剤を含有するトナー粒子と、シリカチタニア複合粒子とを有するトナーであって、

該シリカチタニア複合粒子のシリカの含有量が、55.0 ~ 85.0 質量%であり、  
 該シリカチタニア複合粒子の X 線回折測定により得られるチャートにおいて、 $2\theta = 24.0 \sim 29.0$  の範囲に存在するピークのうち、最も強度の高いピーク及び次いで強度の高いピークについて、低角側のピークの面積値を  $X_a$  とし、高角側のピークの面積値を  $X_b$  としたとき、 $X_a / X_b$  が  $95 / 5 \sim 75 / 25$  であることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結着樹脂及び着色剤を含有するトナー粒子と、シリカチタニア複合粒子とを有するトナーであって、

該シリカチタニア複合粒子のシリカの含有量が、55.0 ~ 85.0 質量%であり、  
 該シリカチタニア複合粒子の X 線回折測定により得られるチャートにおいて、 $2\theta = 24.0 \sim 29.0$  の範囲に存在するピークのうち、最も強度の高いピーク及び次いで強度の高いピークについて、低角側のピークの面積値を  $X_a$  とし、高角側のピークの面積値を  $X_b$  としたとき、 $X_a / X_b$  が  $95 / 5 \sim 75 / 25$  であることを特徴とするトナー。

【請求項 2】

前記  $X_a / X_b$  が、 $94.05 / 6.05 \sim 77.05 / 23.05$  である請求項 1 に記載のトナー。

【請求項 3】

前記  $X_a / X_b$  が、 $90 / 10 \sim 85 / 15$  である請求項 1 に記載のトナー。

【請求項 4】

該トナー粒子が、30 ~ 1000 ppmのチタン元素を含有している請求項1 ~ 3のいずれか1項に記載のトナー。